

初のWeb開催による学術集会以明らかなった課題について

このたび、第24回日本看護管理学会学術集会以、初のWeb開催にもかかわらず、約4000人の方にご参加いただきました。本大会を盛況に終えることができ、参加者の皆様、企画・運営の関係者の皆様に感謝申し上げます。

学術集会以のWeb開催には、リアルタイムセッションの質疑が活発に行われたことや、オンデマンド配信によって多くのセッションを視聴できたことなど、現地開催では得られないメリットが多々ありました。

しかし同時に、様々な課題も浮かび上がりました。学術集会以参加者より、一人のIDで、複数人が学習目的で視聴していたという報告がありました。これは当然、参加費を払いIDを受け取るという原則から外れた行為です。学術集会以開催には、莫大な経費がかかることから、参加費をいただくことで成り立っており、公正な参加が前提になります。

一方で、学術集会以を研究や教育に活用していただくことも目的のひとつです。本会といたしましては、Web開催における様々な参加のあり方を検討するとともに、セキュリティの確保やコンテンツの改良などに努めてまいりたいと存じます。今後もWebを活用した学術集会以は発展していくと考えます。引き続き、皆さまのご意見をいただきながら、今後の学術集会以の在り方を検討してまいります。

2020（令和2）年10月5日
一般社団法人日本看護管理学会
理事長 別府 千恵